

平成20年度 上半期財政状況をお知らせします

市では、毎年2回、上半期（4月～9月）と下半期（10月～3月）に分けて、財政状況を公表しています。これは、皆さんから納めていただいた税金などが、どのように使われているのかをお知らせするものです。

今回は、平成20年9月30日現在における平成20年度上半期（4月～9月）の一般会計、特別会計および企業会計（上水道事業会計）の予算執行状況についてお知らせします。

表1 一般会計の予算執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市 税	144億1,086万3千円	78億4,059万8千円	54.4%
市 債	30億5,910万円	6,860万円	2.2%
国庫支出金	19億4,684万8千円	8億5,117万4千円	43.7%
繰越金	10億1,656万6千円	10億1,656万6千円	100%
県支出金	9億4,443万7千円	1億6,621万7千円	18.4%
地方消費税交付金	7億6,500万円	4億7,284万8千円	61.8%
諸収入	7億2,269万3千円	2億5,147万2千円	28.4%
繰入金	5億9,677万1千円	5億8,972万2千円	85.3%
分担金及び負担金	2億4,290万6千円	1億1,964万4千円	42.0%
その他	10億1,080万4千円	4億8,193万9千円	47.7%

歳入は、皆さんから納めていただいた固定資産税や市民税などの市税が大きな割合を占めています。

○一般会計の予算執行状況
一般会計の予算執行状況は、表1のとおりです。予算現額は、246億6,107万8千円で、収入済額は、116億9,909万9千円（収入率47.4パーセント）、支出済額は、111億7,441万9千円（執行率45.3パーセント）となっています。

○特別会計および企業会計の予算執行状況
特別会計および企業会計の予算執行状況は、表2のとおりです。

表2 特別会計および企業会計の予算執行状況【特別会計】

区 分	予算現額	収入済額 支出済額	収入率 執行率
国民健康保険	8,919,854	3,594,063 4,139,822	40.3 46.4
公共下水道事業	4,579,745	1,903,461 1,738,961	41.6 38.0
老人保健	635,166	405,262 309,146	63.8 48.7
稲荷伊草第二 土地区画整理事業	83,025	74,301 9,284	89.5 11.2
鶴ヶ曽根・二丁目 土地区画整理事業	227,757	216,901 26,558	95.2 11.7
大瀬古新田 土地区画整理事業	613,996	281,604 204,215	45.9 33.3
西袋上馬場 土地区画整理事業	486,788	160,064 102,458	32.9 21.0
八潮南部東一体型 特定土地区画整理事業	2,630,796	308,588 467,727	11.7 17.8
介護保険	2,955,587	1,287,434 994,336	43.6 33.6
後期高齢者医療	426,681	143,952 115,682	33.7 27.1

歳出	予算現額	支出済額	執行率
民生費	65億2,305万1千円	30億9,202万8千円	47.4%
土木費	39億6,598万7千円	18億5,999万6千円	46.9%
公債費	35億5,107万4千円	17億5,245万5千円	48.0%
総務費	30億8,791万4千円	17億7,342万7千円	57.4%
教育費	30億4,383万2千円	11億1,511万2千円	36.6%
消防費	19億6,009万9千円	4億8,101万3千円	24.5%
衛生費	17億2,497万7千円	7億3,937万8千円	42.9%
商工費	3億3,724万6千円	2億1,170万9千円	62.8%
議会費	2億5,456万1千円	1億2,580万2千円	49.4%
その他	2億1,233万7千円	7,070万円	33.3%

歳出は、児童、高齢者や障がいのある方などへの支援にかかる民生費が大きな割合を占めています。

【企業会計】上水道事業

区 分	予算額	上半期決算額	執行率
収益的収入	1,943,184	963,465	49.6
収益的支出	1,919,473	906,513	47.2
資本的収入	471,122	94,196	20.0
資本的支出	1,098,475	271,659	24.7

表3 平成19年度決算に基づく健全化判断比率等

○健全化判断比率

比率名	八潮市の数値	早期健全化基準※1	財政再生基準※2
実質赤字比率	-	12.74%	20.00%
連結実質赤字比率	-	17.74%	40.00%
実質公債費比率	16.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	151.0%	350.0%	-

○資金不足比率

区 分	八潮市の数値	経営健全化基準※3
上水道事業	-	20.0%
公共下水道事業	-	
稲荷伊草第二土地区画整理事業	-	
鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業	-	
大瀬古新田土地区画整理事業	-	
西袋上馬場土地区画整理事業	-	
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	-	

※1 財政の早期健全化を図るべき基準です。健全化判断比率のいずれかの比率が、基準以上の場合、財政健全化計画の策定が義務付けられ、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

※2 財政の再生を図るべき基準です。健全化判断比率のうち、将来負担比率を除いたいずれかの比率が基準以上の場合、財政再生計画の策定が義務付けられ、国等の関与による確実な再生が求められます。

※3 公営企業の経営の健全化を図るべき基準です。資金不足比率が、経営健全化基準以上の公営企業については、経営健全化計画の策定が義務付けられます。

平成19年度決算に基づく健全化判断比率等の算定結果をお知らせします

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による、八潮市の平成19年度決算に基づく健全化判断比率等の算定結果は表3のとおりです。

いづれの比率も、法令で定められている早期健全化基準（財政再生基準）、経営健全化基準を下回っています。

○実質赤字比率：一般会計等における実質赤字の標準財政規模に対する割合です。

○連結実質赤字比率：一般会計等に公営事業会計・公営企業会計を加えた全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する割合です。

○実質公債費比率：一般会計等が負担する公債費、公営企業の公債費に係る繰出金および一部事務組合の公債費に係る負担金など、実質的な公債費の標準財政規模に対する割合（3カ年平均値）です。

○将来負担比率：一般会計等の地方債現在高、債務負担行為に基づく支出予定額や公営企業債残高のうち、一般会計等からの繰出金で償還する見込額などの将来負担額の標準財政規模に対する割合です。

○資金不足比率：公営企業の資金の不足額（実質赤字相当額）の、事業の規模（主たる営業活動から生じる収益等）に対する割合です。

○標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模を示すものです。健全化判断比率等の算定に当たっては、地方税や地方譲与税等の収入見込額に普通交付税および特別地方債である臨時財政対策債の発行可能額を加えた額を用います。

平成20年度上半期財政状況および平成19年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果については、市ホームページ（http://www.city.yashio.lg.jp/）をご覧ください。